

キタキツネ

米田（1981・文献31）がロードセンサス（ライトセンサス）、直接観察、フン採集などにより調査をおこなった。その結果、知床におけるキタキツネの生息密度を、森林（林道沿い）1.01/平方km、耕地1.29/平方km、国道沿い1.42/平方kmと推定した。また、米田はルシャ川河口でフン採集1例を報告している。

安江他（1985・文献8）は遠音別岳周辺で調査をおこない、ライトセンサスによって密度を推定した。それによれば、森林（林道沿い）0.93/平方km、耕地2.43/平方km、国道沿い0.91/平方kmと推定した。また、痕跡調査では、高山帯には痕跡は見られず、河川の中下流域でのみ認められた。

両調査によって、キタキツネは林地や高山より、低地の農耕地周辺に多いことが示されている。近年の農耕地帯でのキツネの増加は、キツネが餌とする農畜産廃棄物が増えたためであるとされる。知床においても、開発の進んだ半島中央部・基部がキタキツネの主要な生息地であり、山岳・森林地帯である中央以先は生息密度は低いものと考えられる。

今回の調査の途中、観光客の与える餌を求めて道路沿い、知床五湖駐車場に出没するキタキツネが多数見られた。斜里町の調査によれば、知床の道路周辺ではこのような人間への依存を示すキツネが多数現れており、行動圏なども本来の形から変化していることが明らかになりつつある（斜里町調査・未発表）。

ルシャ地域においては、過去の報告では、米田がフン採集一例を示しているのみである。今回の現地調査においては、ライトセンサスで1個体が目撃され、生息が確認された。ルシャ地域特に河口周辺においては漁業番屋があり、そこから出される廃棄物がキツネの誘因要因となっている可能性があること、秋にはサケマスの上りがあり、それが餌となる可能性があることなどから、周辺地域に比較すればキタキツネの生息密度は高くなる可能性がある。

キタキツネは現在、農耕・畜産などの人間の活動によって生息数を増加させている種である。また、人間の与える餌や観光客のゴミなどによって習性を変化させる可能性がある。原生自然を保全すべきルシャ地域にあっては、このような人為的なキツネの増加や行動の変化をもたらさないよう、人間活動の影響を押さえる配慮が必要である。具体的には、漁業廃棄物やゴミ処理の徹底、観光客入り込みの制限などが考えられる。

イタチ類

今回の現地調査では記録することができなかった。既存文献から下記の点が指摘される。

クロテン

近藤（1988・文献60）は、知床岬、幌別川流域、羅臼岳登山道、春荻古丹川でのフン採集例、目撃例を記し、知床での生息数は多いものと推定している。ルシャ地域においても、その環境から考えて生息するものと考えられる。

イイズナ

米田（1981・文献31）は知床岬、標津町元崎無異、ルシャ川捕獲場、知床横断道路峠での捕獲例を挙げている。また、ルシャ川でのフン採集記録を示している。これらの例から、近藤（1988・文献60）は調査がおこなわれていない高山帯以外のすべての植生に生息すると述べている。ルシャ川での捕獲例が示されていることから、当調査対象地域に生息することは明らかである。

移入されたイタチ類

道内には、本州から移入されたホンダイタチ、北米から移入されたミンクが生息する。両種とも知床で確認されている。

ホンダイタチについては、米田がオクシベツ川孵化場、サシルイ川孵化場、ルサ川孵化場での記録を報告している。しかし、本来の生息地が農耕地や低地の沢沿いであることと、ミンクとの競合があることから知床での生息数は多くないと推定している。他の孵化場で記録されていることから、ルシャ川河口周辺での生息の可能性もあるが、前記のように生息数は多くないと考えられる。

ミンクについては、米田が知床半島部の11ヶ所の孵化場での記録を報告し、現在ミンクは知床半島のほぼ全域、岬部まで分布を広げていると述べている。ルシャ川の孵化場でも早春にミンクが侵入し稚魚の被害を受けていることを報告している。当調査地に生息することは明らかである。ただし、淡水魚を主に捕食する種であることから、高山帯には多くは生息せず、海岸～低山の水系沿いが主要な生息地であると推定される。

エゾユキウサギ

近藤（1988・文献60）は、過去の記録を報告し、知床の低山帯を中心に普通の種であると述べている。また、猛禽類の冬の餌として重要であると指摘している。

知床半島産哺乳類相

1988 「知床の動物」 北大図書刊行会

食虫目 INSECTIVORA

トガリネズミ科	Soricidae	
トウキョウトガリネズミ	Sorex minutissimus hawkeri	Thomas
カラフトヒメトガリネズミ	S. gracillimus	Thomas
エゾトガリネズミ	S. caecutiens saevus	Thomas
オオアシトガリネズミ	S. unguiculatus	Dobson

翼手目 CHIROPTERA

キクガシラコウモリ科	Rhinolophidae	
キクガシラコウモリ	Rhinolophidae ferrumequinum	Schreber
コキクガシラコウモリ	R. cornutus	Temminck
ヒナコウモリ科	Vespertilionidae	
ホオヒゲコウモリ	Myotis mystacinus	Kuhl
ヒメホオヒゲコウモリ	M. ikonnikovi	Ognev
モモジロコウモリ	M. macrodactylus	Temminck
ドーベントンコウモリ	M. daubentoni	Kuhl
カグヤコウモリ	M. fraster	Allen
クビフコウモリ	Eptesicus nilssoni	Keyserling & Blasius
トウキョウヒナコウモリ	Vespertilio orientaris	Wallin
ヤマコウモリ	Nyctalus aviator	Thomas
ウサギコウモリ	Plecotus auritus	Linnaeus
チチブコウモリ	Barbastella leucomelas	Cretzchmar
コテングコウモリ	Murina ussuriensis	Ognev
テングコウモリ	M. leucogaster	Milline Edwards

兎目 LAGOMORPHA

ウサギ科	Leporidae	
エゾユキウサギ	Lepus timidus ainu	Barrett Hamilton

嚙歯目 RODENTIA

リス科	Sciuridae	
エゾリス	Sciurus vulgaris orientis	Thomas
エゾシマリス	Tamias sibiricus lineatus	Siebold
エゾモモンガ	Pteromys volans orii	Kuroda
ネズミ科	Muridae	
ミカドネズミ	Clethrionomys rutilus mikado	Thomas
エゾヤチネズミ	C. rufocanus bedfordiae	Thomas
ヒメネズミ	Apodemus argenteus	Thomas
カラフトアカネズミ	A. peninsulae	Thomas
エゾアカネズミ	A. speciosus ainu	Thomas
ハツカネズミ	Mus musculus molossinus	Temminck
クマネズミ	Rattus lanezumi	Temminck
ドブネズミ	R. norvegicus	Berkenhout

食肉目 CARNIVORA

裂脚亜目 FISSIPEDIA**イヌ科 Canidae**

- キタキツネ *Vulpes vulpes schrencki* Kishida
エゾタヌキ *Nyctereutes procyonoides albus* Beard

クマ科 Ursidae

- エゾヒグマ *Ursus arctos yesoensis* Lydekker

イタチ科 Mustelidae

- エゾオコジョ *Mustela erminea orientalis* Ogney
イイズナ *M. nibalis namiyei* Kuroda
ホンドイタチ *M. sibirica itatsi* Temminck
ミンク *M. vison domestica* Haltenorth
エゾクロテン *Martes zibellina brachyura* Temminck
ラッコ *Enhydra lutris* Linnaeus

鳍脚亜目 PINNIPEDIA**アシカ科 Otariidae**

- オットセイ *Callorhinus ursinus* Linnaeus
トド *Eumetopias jubata* Schreber

アザラシ科 Phocidae

- ゴマフアザラシ *Phoca largha* Pallas
ゼニガタアザラシ *P. vitulina* Linnaeus
ワモンアザラシ *P. hispida* Schreber
クラカケアザラシ *P. fasciata* Zimmermann
アゴヒゲアザラシ *Erignathus barbatus* Erxleben

偶蹄目 ARTIODACTYLA

シカ科 Cervidae

- エゾシカ *Cervus nippon yesoensis* Heude

鯨目 CETACEA

歯鯨亜目 ODONTOCETI**マッコウクジラ科 Physeteridae**

- マッコウクジラ *Physeter macrocephalus* Linnaeus

アカボウクジラ科 Ziphiidae

- アカボウクジラ *Ziphius cavirostris* Cuvier
ツチクジラ *Berardius bairdi* Stejneger
キタトックリクジラ *Hyperoodon ampullatus* Foster
イチョウハクジラ *Mesoplodon ginkgodens* Nishiwaki & Kitayama
ハップスオオギハクジラ *M. carlhubbsi* Moore
オオギハクジラ *M. stejnegeri* True

ネズミイルカ科 Phocaenidae

- ネズミイルカ *Phocoena phocoena* Linnaeus
イシイルカ *Phocoenoides dalli* True

マイルカ科 Delphinidae

- マイルカ *Delphinus delphis* Linnaeus
スジイルカ *Stenella coeruleoalba* Meyen
カマイルカ *Lagenorhynchus obliquidens* Gill
セミイルカ *Lissodelphis borealis* Peale
バンドウイルカ *Tursiops truncatus* Dall
マゴンドウ *Globicephala melaena* Traill

シオゴンドウ	<i>G. Scammonii</i> Cope
オキゴンドウ	<i>Pseudorca crassidens</i> Owen
シャチ	<i>Orcinus orca</i> Linnaeus

シュ鯨亜目 MYSTACODETI

セミクジラ科	<i>Balaenidae</i>
セミクジラ	<i>Eubalaena glacialis</i> Borowski
コククジラ科	<i>Eschrichtidae</i>
コククジラ	<i>Eschrichtius gibbosus</i> Erxleben
ナガスクジラ科	<i>Balaenopteridae</i>
ザトウクジラ	<i>Megaptera novaeangliae</i> Borowski
シロナガスクジラ	<i>Balaenoptera musculus</i> Linnaeus
ナガスクジラ	<i>B. physalus</i> Linnaeus
イワシクジラ	<i>B. borealis</i> Lesson
ニタリクジラ	<i>B. edeni</i> Anderson
ミンククジラ	<i>B. acutorostrata</i>